

第3回庄原市長期総合計画審議会専門部会(産業交流部会) 会議録(摘録)

1. 開催日時 平成27年9月2日(水) 10:00～
2. 開催場所 庄原市役所本庁舎5階 第1委員会室
3. 出席委員 片平 一平 委員 ・ 石川 芳秀 委員 ・ 藤元 恵里子 委員
大坂 秋雄 委員 ・ 松長 百合子 委員 ・ 吉岡 史郎 委員
4. 欠席委員 生熊 剛士 委員 ・ 土井 幹雄 委員
5. 出席職員 企画課長 兼森 博夫
企画課企画調整係長 加藤 武徳
企画課企画調整係 本郷 明宏
企画課企画調整係 森久 敬太
6. 傍聴者 庄原市議会議員 垣内 秀孝 ・ 庄原市議会議員 門脇 俊照
庄原市議会議員 谷口 隆明 ・ 庄原市議会議員 徳永 泰臣
庄原市議会議員 林 高正 ・ 庄原市議会議員 吉方 明美
庄原市社会福祉協議会 会長 山内 文雄
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

第3回庄原市長期総合計画審議会専門部会（産業交流部会） 次第

平成27年9月2日（水）10：00～
庄原市役所 本庁5階 第1委員会室

1. 開会

2. 議事

- ・基本構想について
- ・基本計画について

3. その他

- ・次回専門部会開催日（予定）について
日時：平成27年10月16日（金） 10：00～
場所：庄原市役所本庁舎5階 第2委員会室

4. 閉会

会議経過

(1) 開会

(前回専門部会後の修正箇所等について事務局説明)

(2) 議事

・基本事項について

事務局：(資料により事務局説明)

委員：6頁で、面積は香川県の3分の2に相当するとあるが、こういった表現は文面に挙げてよいものか？

事務局：香川県の面積も公表されており問題はないと思う。

委員：36頁で、効果的・効率的な行政運営とあるが、職員数の推移などとの整合性がよくわからない。文章の中に人件費や職員数等が、一切言葉として表現されていないが、表を入れているのはどういった関係からか？

事務局：行政改革の大きな象徴のひとつであるのでグラフを入れているが、文章との結びつきが薄いため、内容の修正を検討したい。

委員：56頁で新規就農者の確保とあるが、グラフは認定農業者数となっている。タイトルと合致しないのではないか？

事務局：確認し、修正する。

委員：34頁以降に基本政策の検証を入れられたのはよい。第1期長期総合計画の内容を踏まえ、次のステップにつながると思う。現状や将来の見直しを踏まえ、PDCAをしていくことになると思うが、次のステップへとつなげていくようにしなければならない。第1期計画においては、目標を達成していないものがほとんどであり、どういうシナリオで取り組んだのかをチェックし、判明した問題点を次につなげる流れが必要だと思う。

事務局：整理の仕方をもう一度考えたい。

委員：39 頁の「商工業の活性化」の箇所で、表内の商品販売額について、平成 17 年と平成 26 年と同額であるが増えていないのか？

事務局：誤りであるため、修正する。

委員：表内の商業従事者、工業従事者とあるが、どういう基準で分けられているのか？経済センサス等のデータなのか？

事務局：経済センサスと商業工業統計調査である。

委員：43 頁の「生活の安全確保」の中で、「今後公的機関だけでは限界もあることから、住民によって組織される自主防災組織設立への支援等が一層重要になるものと考えられます。」とあるが、表現が抽象的だと思う。「自治振興区を主体として」といった表現を盛り込んではどうか？各団体の動きなどを含めて、どの団体がどのように取り組んでいるのかが見えない。

事務局：自主防災を行っている自治振興区や自治会もある。災害時の要援護者の避難支援は、福祉サイドでの取り組みであり、様々な関係もあるが、整理していきたい。

・基本構想について

事務局：(資料により事務局説明)

(将来像について)

委員：将来像の案のうち、どれが良いかということか？それならば案 1 が良いと思う。「輝く」ということで、明るいイメージがある。他は「絆」にしろ、見えない部分なので、みんなが好きになるものが良いのではないか？

委員：7 頁のシンプルなものが良い。前段に言葉を入れるとわかりにくくなるのではないか？

委員：案 3 も良いかと思ったが長すぎる。「里山共生都市しょうばら」と簡素にまとまっており、何もつけない方が良いのではないか？庄原は彩りがきれいなので、どこかに文言をととは思った。

委員：どの案でも良いと思うが、案1が良いのではないか？

委員：「里山共生都市 彩り豊かな しょうばら」として、サブタイトルの文言はそのままではどうか？

委員：「美しく輝く」の案1が良い。

委員：どれも良いが、案3が好きである。

事務局：様々な意見をお聞かせ頂いた。頂いた意見を基に検討し、最終的には市長に判断してもらうよう進めたい。

(本編内容について)

委員：13頁に主な施設配置の記述があるが、第1章との数値の整合がとれていないように思う。博物館の数が正しくないのではないか？

事務局：確認し、修正する。

委員：松江線は高速道路になるのか？

事務局：一般的には自動車専用道路だが、高速道路である。

委員：20頁にもあるように、事業者数、工業者数は今後伸びていかないと思う。背景として、商工会の会員数や事業所数も減っている。国の法律により、小規模事業者支援促進法ができ、それを柱に各都道府県に県条例をつくるようお願いしている。県内の商工会議所等で指標を見ても伸びていない。法人は別にし、夫婦でしている商売や、創業支援制度を利用して商売をしたい方々に対し、特化した施策が必要ではないか？目標や文言等、具体的に計画に盛り込んでほしい。

・基本計画について

事務局：(資料により事務局説明)

委員：11 頁に「繁殖和牛・あづま蔓・比婆牛素牛」が同列になっているが、繁殖牛のことをあづま蔓というのだと思う。『』等を追加するような表現にした方がよいのではないかと？農業振興課と協議してほしい。

委員：目標指標において、PDCA の観点が必要であり、目標の捉え方、整合性が重要である。上位の目標との整合性をきちんと取り、達成しているか見える形にしていないと計画倒れになってしまう。また、基本計画において、守りと攻めの両方の領域があると思うが、当然守りが重要であり、現状をいかに豊かにしていくか、輝く市にしていきたいところが必要となる。

攻めでいうと、定住を増やしていく、新しいビジネスを創出しようとするなどである。その際、ブランド化が重要なポイントであり、庄原自体がブランドになるといった、大きな視点を持つことが出来ればよいと思う。そのためには発信が重要である。里山がキーワードであるが、曖昧で中身がない。里山資本主義という本も出版され 50 万部も売れたことは、発信の良いきっかけになるのではないかと？

一過性のものでなく、時代に負けない、ブランド化を意識した攻めの具体的な戦略、戦術がでてくるとシナリオに磨きがかかる。成功事例もあり、検討してほしい。観光周辺にその要素があるのではないかと？

委員：市民が見て、元気が出るような、10 年後のイメージが湧く計画にしてほしい。現在の計画を見ると、現状分析や課題等、現実的には厳しい文言ばかりで、読むほど暗くなる状況である。人口が 3 万人、2 万人をきったとしても、ここで豊かに暮らせるようなまちづくりを定義すべきだと思う。日本全体が人口減少社会になることは避けては通れないため、減少してダメだといっているだけでは仕方がない。ヨーロッパには、人口は少ないものの自然環境を守り、豊かに暮らしている所もある。「村は美しくなければ滅びる」という言葉まで作り、きれいなまちづくりをしている。次の時代に繋がるようなビジョンがほしい。

事務局：内容を再度検討し、整理していきたい。

委員：日本全体が少子高齢化社会になる中で、さらに成長していかなければならない。事実は冷静にみんなで共有し、ばねとなる危機感も共有していることが重要である。守りがあることで安心感を持ち、攻めの部分で一体感を持ち、やっつけようというエネルギーにつなげる。そうした表現にするといいたくないか。戦略、戦術の部分をもっと練ると良いと思う。

委員：基本構想の 22 頁、基本計画の 30 頁を見てもなかなか理解しづらい。現在のサービス内容が一目でわかりやすいものにしてほしい。そうしたものが本編でも別冊でもよいので、できるのであればお願いしたい。

委員：作成した側は理解できると思うが、最終的に市民が理解し、行動していくことに繋げていく必要があると思う。情報発信する際も分かりやすいものである必要がある。HP は見ている人も多いのではないかと思う。車のオーナーズマニュアルは読まないが、クイックチップとして A 4 等のサイズにまとめていると読みやすいように、市民が持ち歩けてすぐに閲覧できるような工夫が必要ではないか。市民に理解してもらうことが非常に大事である。

事務局：福祉関係や農業関係の内容を整理したい。地域包括ケアシステム等は理解しづらいが、一般的であるため使わざるを得ない。言葉がわかりにくいかもしれない。

委員：分厚い回覧板では、高齢者は読まない。小冊子的のようなものがあれば、読むと思う。

(3) その他

- ・次回開催日（予定）について

(4) 閉会